

令和6年能登半島地震の地震動について

(防災科学技術研究所のK-NET観測記録の応答スペクトル特性)

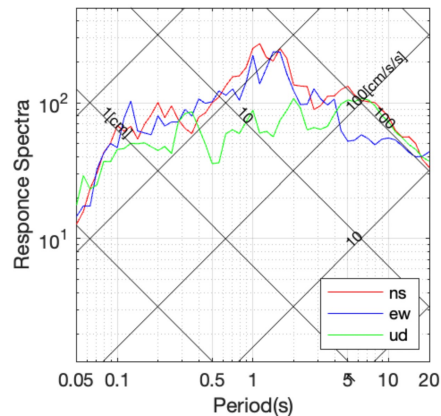
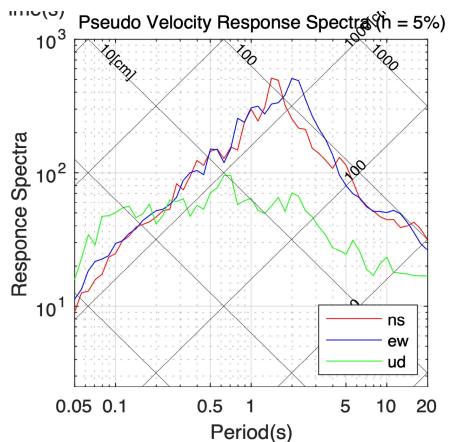
東北大学災害科学国際研究所 大野晋

- 低層建物に影響が大きいとされる（境他, 2002）周期1-2sの振幅は、穴水町(ISK005), 珠洲市正院町(ISK002)の順に大きい。これらはいずれも沖積地盤に位置。ISK005は過去の内陸地震の大きな被災域の記録にも相当する。
- 輪島(ISK003)の記録も周期1-2sにピークを持つが、振幅は上記より小さい。ただし被害が報告されている場所よりも東側の岩盤に位置しており、河原田川に近い地域では沖積地盤による増幅の影響でより大きな地震動となっていたと思われる。

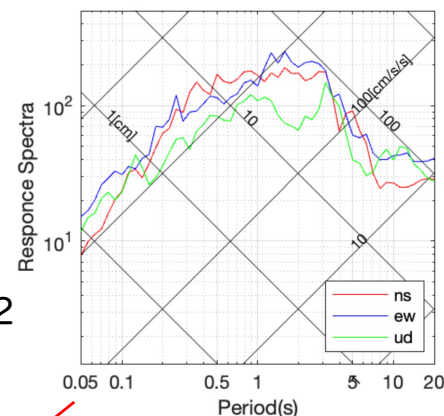
(2007年能登半島沖の地震でも余震観測などにより地盤による違いが指摘されている (Yoshimi & Yoshida, 2008; 山中ほか, 2007))

- 注) この地域は（上記の輪島のように）場所による地盤の違いが大きいので、観測地点以外の揺れの大きさの推定には、地盤増幅を適切に補正する必要があると思われます。

ISK005
 穴水町
 字大町
 沖積地盤
 計測震度6.5

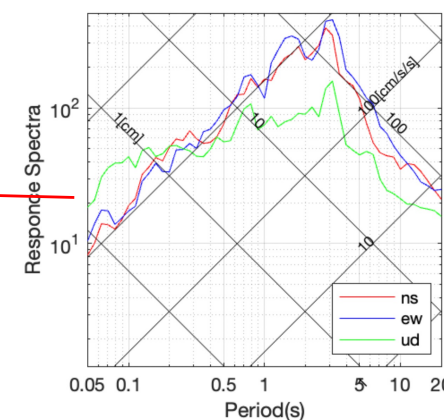
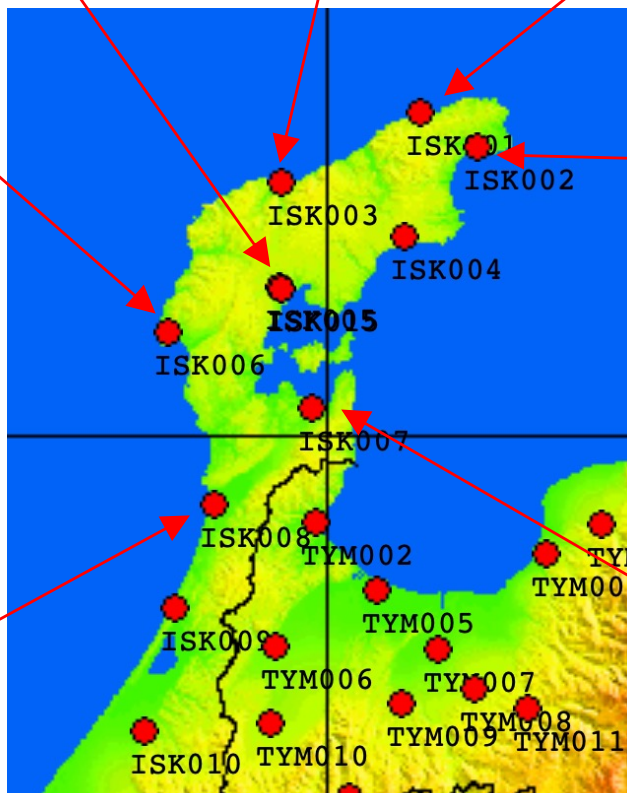
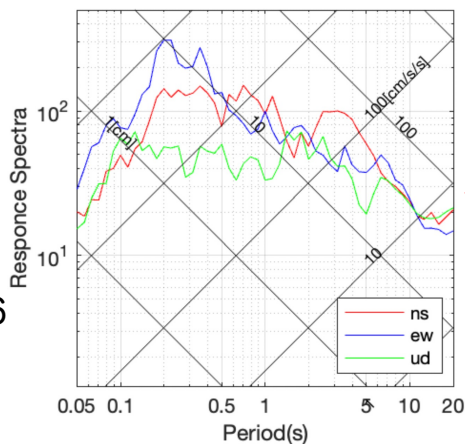


ISK003
 輪島市
 河井町
 岩盤
 計測震度6.2



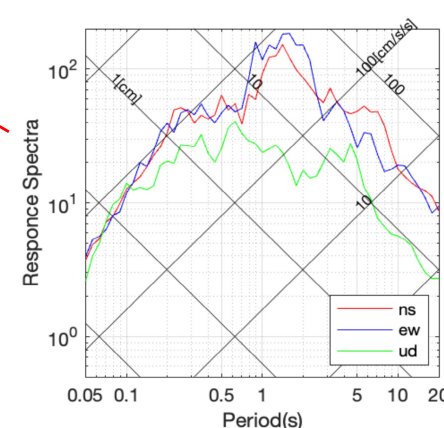
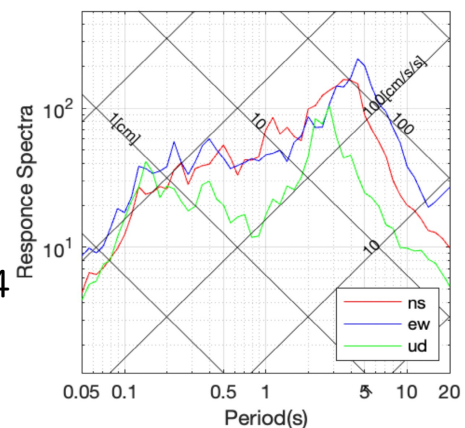
ISK001
 珠洲市
 大谷町
 岩盤
 計測震度6.2

ISK006
 志賀町
 香能
 岩盤
 計測震度6.6



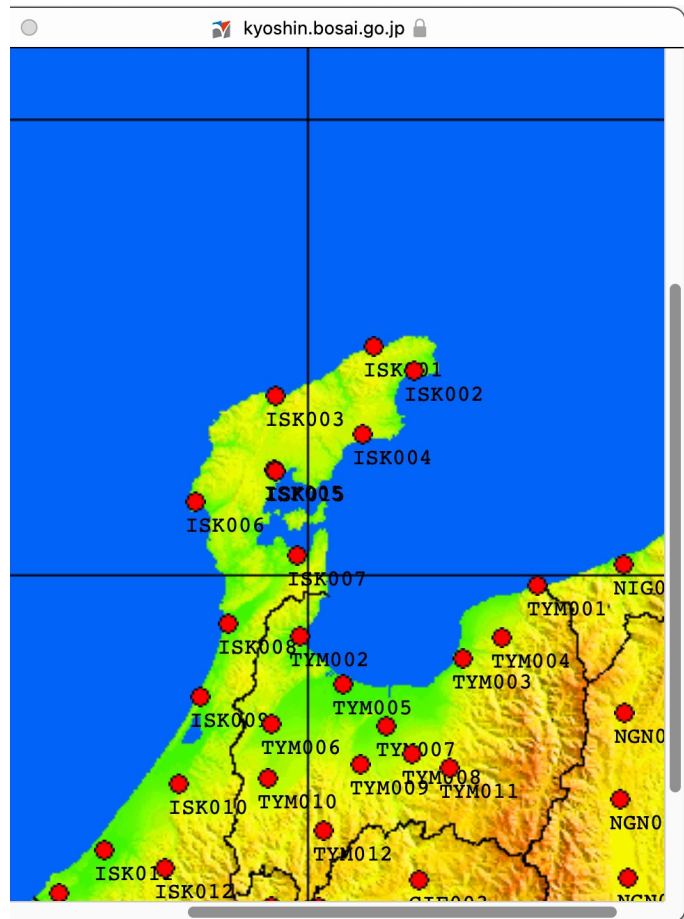
ISK002
 珠洲市
 正院町
 沖積地盤
 計測震度6.2

ISK008
 羽咋市
 旭町
 沖積地盤
 計測震度5.4

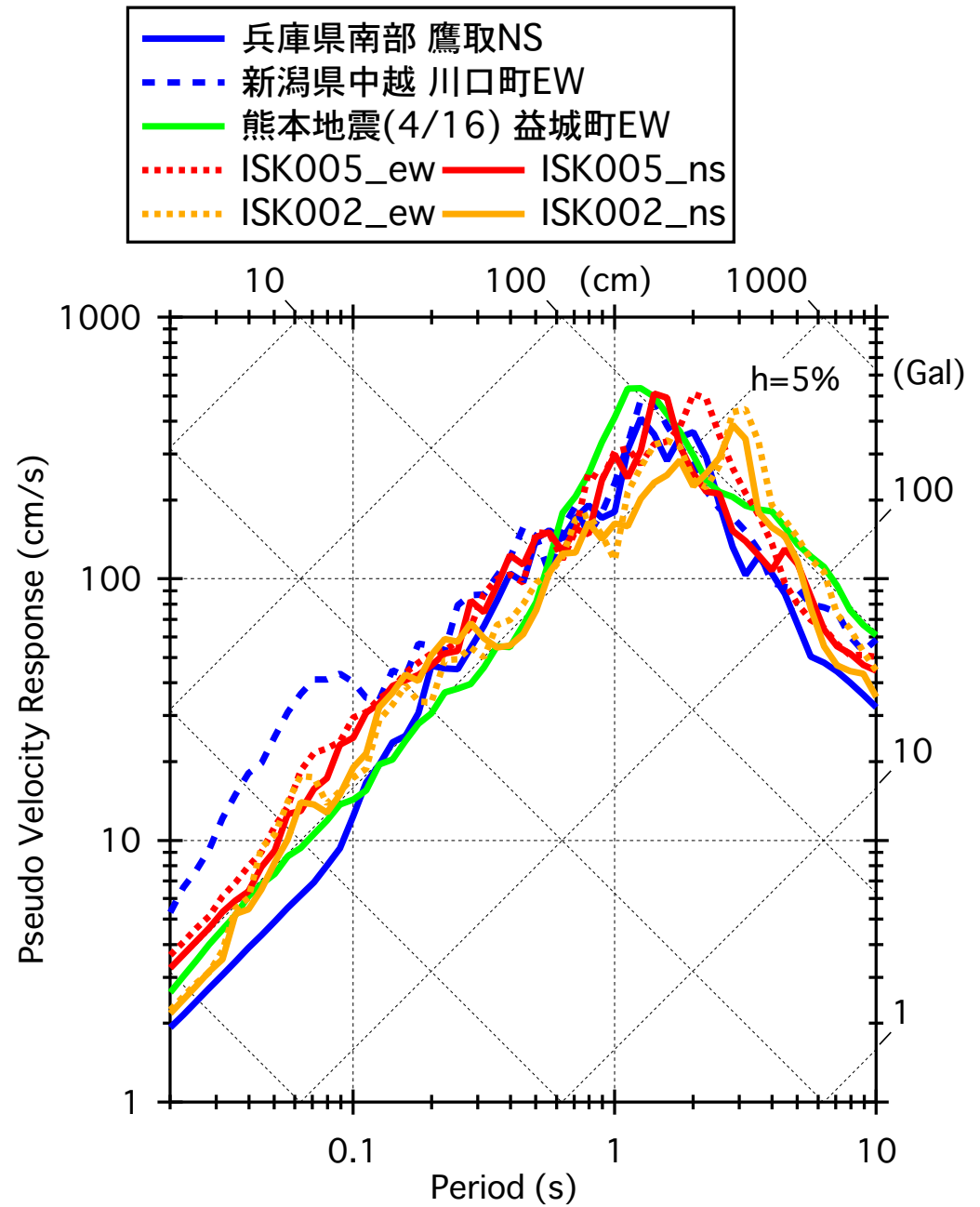


ISK007
 七尾市
 袖ヶ江町
 沖積地盤
 計測震度5.8

(NIED)



(NIED)



過去の内陸地震の大きな被災域の記録との比較

- 参考文献
- M. Yoshimi and K. Yoshida, *Earth Planets Space*, 60, 161–167, 2008
- 山中ほか, 第35回地盤震動シンポジウム資料, pp.23-30, 2007
- 境有紀ほか, 日本建築学会構造系論文集 (555) 85-91 2002年5月

(謝辞) 防災科学技術研究所, 気象庁, JR総研の強震記録を使用させていただきました。